

令和3年2月8日 長野市都市内分権審議会
資料2

必須・選択事務の見直しに係る ヒアリング状況報告

令和3年2月

地域・市民生活部 地域活動支援課

住民自治協議会における必須・選択事務の負担感

2

住民自治協議会へのアンケート調査（令和元年10月実施）

必須・選択事務の負担感 **50%を超える住民自治協議会が負担**と感じている**9事務**

事務	名称	担当課	負担大の割合	ヒアリング結果
必須02	民生委員・児童委員候補者の推薦	福祉政策課	79%	検討継続
必須15	地区内の土木要望の取りまとめ、要望書の作成及び現地調査の案内	道路課・河川課・維持課・森林農地整備課	52%	検討継続
必須19	「日赤活動資金」の募集及び取りまとめ	市社協総務課	60%	検討継続
必須20	「共同募金(戸別・法人募金)」の募集及び取りまとめ	市社協総務課	57%	検討継続
選択13	地域福祉推進事業	福祉政策課・地域包括ケア推進課	53%	R3から一部改善
選択14	地域たすけあい事業の実施	市社協地域福祉課	54%	検討継続
選択36	「ながの未来トーク」の開催	広報広聴課	64%	R3から一部改善
個別・臨時01	人権擁護委員候補者の推薦	人権・男女共同参画課	59%	検討継続
個別・臨時10	保護司に係る地区内申委員会または保護司候補者検討協議会委員の推薦	市社協総務課	59%	R3から一部改善

必須02 民生委員・児童委員候補者の推薦 [福祉政策課]

◆ 主な依頼事務の内容

- ・ 地区民生委員推薦準備会の設置
- ・ 民生委員・児童委員候補者の推薦
(根拠: 民生委員法、児童福祉法)

◆ 住民自治協議会の主な負担感

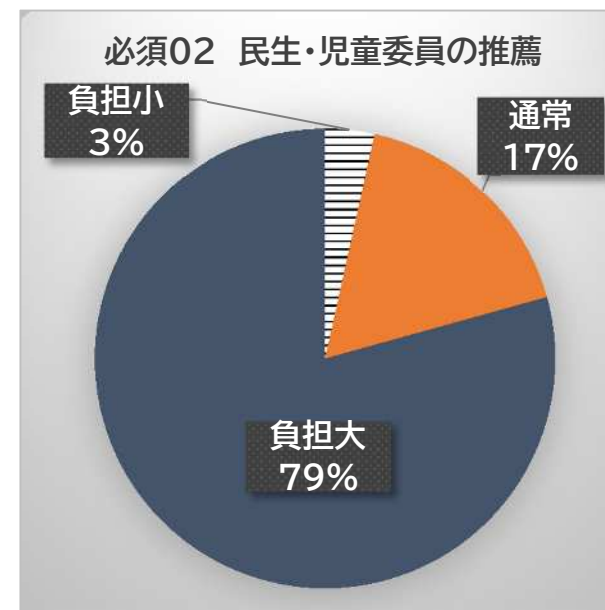
- ・ 適任者を探し出すことが困難
- ・ 年齢制限の緩和が必要
⇒ [参考] 本市の年齢基準

初任民生児童委員: 上限75歳未満(理由書提出で上限超も可) [国: 上限75歳未満]

初任主任児童委員: 上限65歳未満(理由書提出で上限超も可) [国: 上限55歳未満]

◆ 今後の見直し検討課題

- ・ 民生委員・児童委員の活動に係る事例集の作成
(活動に対する正しい認識を深めてもらうため)
- ・ 民生委員・児童委員に係る本来の業務範囲の明確化



必須15 地区内の土木事業要望のとりまとめ、要望書の作成及び現地調査の案内 [道路課・河川課・維持課・森林農地整備課]

◆ 主な依頼事務

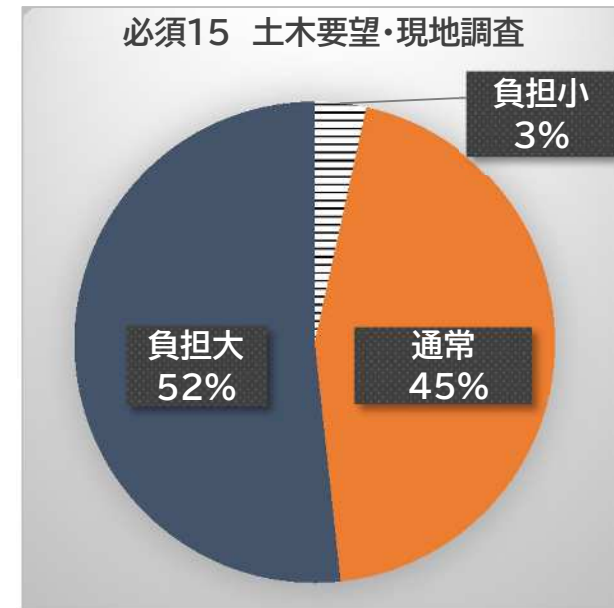
- ・ 土木要望書の提出
- ・ 現地調査の対応

◆ 住民自治協議会の主な負担感

- ・ 要望書作成の簡素化
- ・ 優先順位の調整に苦慮

◆ 今後の見直し検討課題

- ・ 各地区住自協(区長)の会議に参加し、事業内容を説明
- ・ 区単位での選択制(毎年or隔年)
- ・ 実施時期の選択制(4~10月の期間)
- ・ 要望書様式の見直し
- ・ 緊急な案件は電話受付でも柔軟に対応



必須19 「日赤活動資金」の募集及び取りまとめ [市社協総務課]

◆ 主な依頼事務

- ・ 資材調査(必要物品数の把握)への対応
- ・ 募金の取りまとめ、実績報告及び振込処理

◆ 住民自治協議会の主な負担感

- ・ 事務処理作業が煩雑
- ・ 任意募金のため住民の協力や取りまとめが困難

◆ 今後の見直し検討課題

- ・ 必須22(「緑の募金」の募集及び取りまとめ)との負担感の違いを研究
- ・ 「募金目標額」の名称の変更を検討
- ・ 強制ではない旨の継続的な啓発
- ・ 必須20(「共同募金(戸別・法人募金)」の募集及び取りまとめ)の資材調査と統合可能な項目について研究
- ・ 今回の資材調査で回答のあった数値を記載した上で、次回の資材調査を照会



必須20 「共同募金(戸別・法人募金)」の募集及び取りまとめ[市社協総務課]

◆ 主な依頼事務

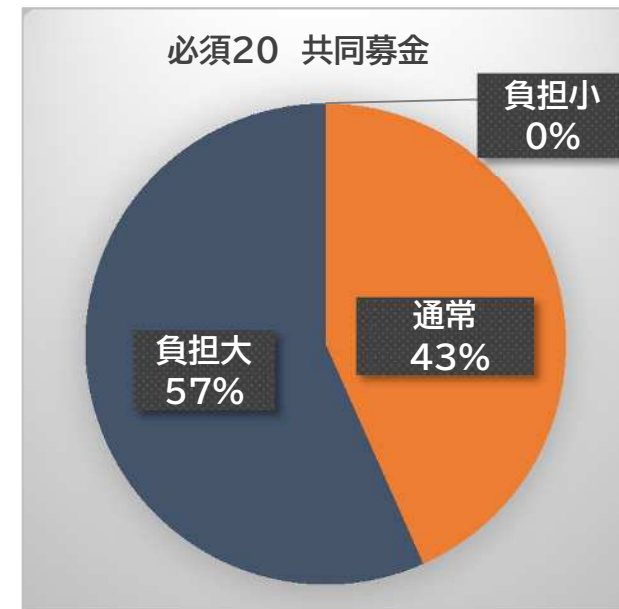
- ・ 資材調査(必要物品数の把握)への対応
- ・ 募金の取りまとめ、実績報告及び振込処理

◆ 住民自治協議会の主な負担感

- ・ 事務処理作業が煩雑
- ・ 任意募金のため住民の協力や取りまとめが困難

◆ 今後の見直し検討課題

- ・ 報告書(法人集計表)の簡素化
- ・ 必須19(「日赤活動資金」の募集及び取りまとめ)の資材調査と統合可能な項目について研究
- ・ 今回の資材調査で回答のあった数値を記載した上で、次回の資材調査を照会



選択13 地域福祉推進事業 [福祉政策課、地域包括ケア推進課]

◆ 主な依頼事務

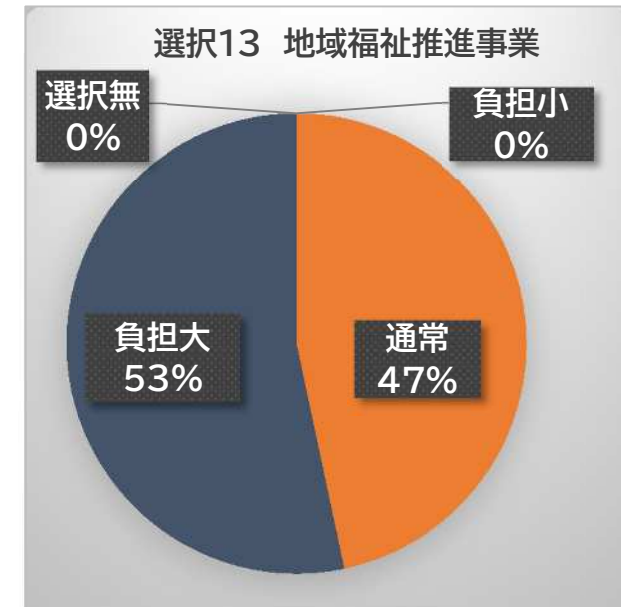
- ・ 地区地域福祉活動計画に基づく地域福祉の推進
- ・ 地域福祉ワーカー設置及び生活支援コーディネーターの兼務

◆ 住民自治協議会の主な負担感

- ・ 補助金申請書類等の事務処理が煩雑
- ・ 生活支援コーディネーターの業務範囲が増大

◆ 今後の見直し検討課題

- ・ 補助金申請における様式等の簡略化
- ・ 地域福祉ワーカーの役割を再整理
(新しい総合事業における生活支援コーディネーターの役割再整理を含む)



選択14 地域たすけあい事業の実施 [市社協地域福祉課]

◆ 主な依頼事務

- ・ 地域たすけあい事業コーディネーターの推薦
- ・ 福祉車両の維持管理、助成金申請

◆ 住民自治協議会の主な負担感

- ・ 福祉自動車の運転手の確保に苦慮
⇒運転手の募集や利用者との需給調整は、
地域たすけあい事業コーディネーターが主に担当

◆ 今後の見直し検討課題

- ・ 現状の依頼事務についての見直しは困難
- ・ 地域福祉ワーカーと地域たすけあい事業コーディネーターの役割整理及び連携について検討



選択36 「ながの未来トーク」の開催 [広報広聴課]

◆ 主な依頼事務

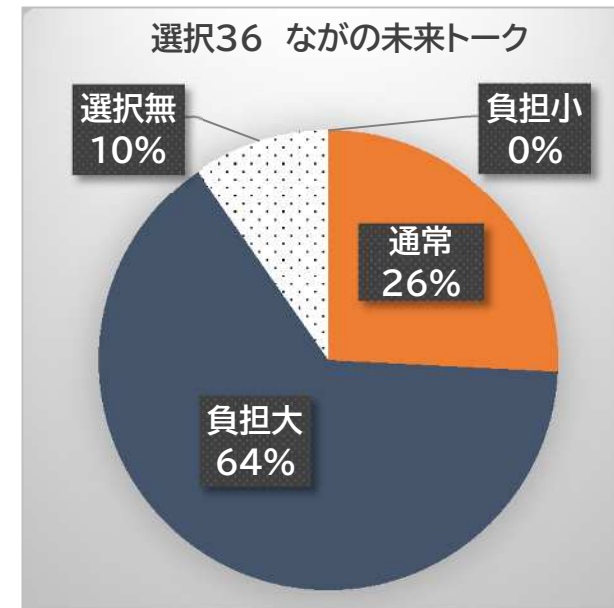
- ・ 開催方法(日程、会議形態等)の決定
- ・ 議題等の調整

◆ 住民自治協議会の主な負担感

- ・ 議題調整に苦慮
- ・ 「2年に1回」の開催がほぼ義務付けられているような実感

◆ 今後の見直し検討課題

- ・ 開催時間の短縮(「各地区の実情により、1時間30分から2時間程度」とする)
- ・ 選択事務であり「2年に1回の開催」が義務ではないことについて、住民自治協議会への周知を図る(併せて「ようこそ市長室へ」についても同様の周知を図る)



個別・臨時01 人権擁護委員候補者の推薦 [人権・男女共同参画課]

◆ 主な依頼事務

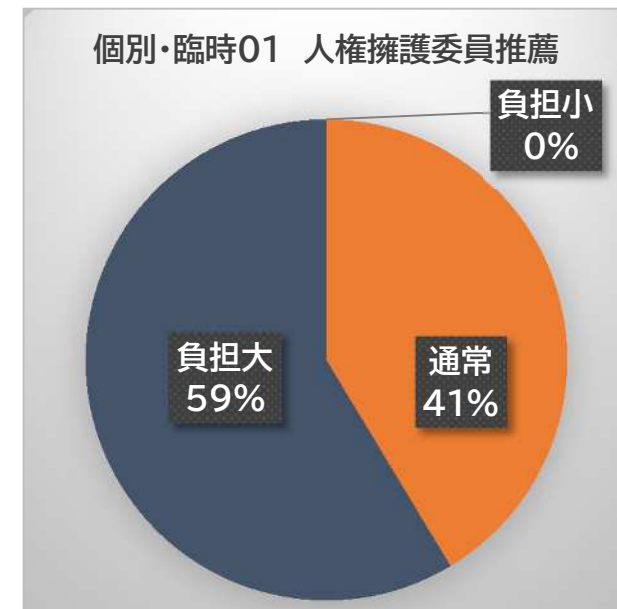
- ・ 任期満了を迎える地区の次期委員候補者の推薦

◆ 住民自治協議会の主な負担感

- ・ 住民自治協議会への推薦依頼が遅い
- ・ 推薦条件に該当する人を見つけることが難しい

◆ 今後の見直し検討課題

- ・ 推薦依頼がもう少し早くなるよう検討
- ・ 推薦条件について、実際は研修等の体制が整っていることから、初任者でも大丈夫である旨を今まで以上に発信



個別・臨時10 保護司に係る地区内申委員会または保護司候補者検討協議会委員の推薦 [市社協総務課]

◆ 主な依頼事務

- ・ 保護司に係る候補者内申委員会委員の推薦

◆ 住民自治協議会の主な負担感

- ・ 保護司の選任は業務の特殊性から困難
- ・ 高齢化により適任者がいない

◆ 今後の見直し検討課題

- ・ 必須・選択事務マニュアルの表記内容を充実
- ・ 地域社会における保護司候補者の取り組みに関し、地区内申委員会の一員として協力いただきたい旨を継続して周知・発信

